

小4

中学受験 算数

ポイント

名前 _____

つるかめ算

____ 月 ____ 日

まとめ つるかめ算

特殊算 標準

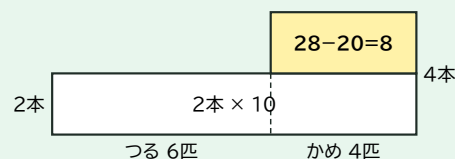
① 全部が一方だとして合計を出す ② 実際との差を求める ③ 差を、1つ入れかえたときに変わる量でわる

例

(1) つるとかめが合わせて10匹、足は合わせて28本。つるとかめは何匹ずつ？

全部つるとすると、足は $2 \times 10 = 20$ (本)実際との差は $28 - 20 = 8$ (本)

1匹かめにかえると 2本ふえる

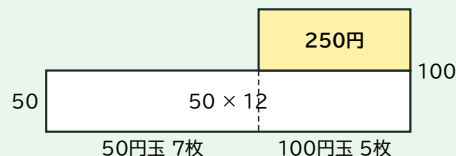
かめ $8 \div 2 = 4$ (匹)、つる $10 - 4 = 6$ (匹)

面積図は、たてが1匹の足の数、横が匹数。黄色の部分が、全部つるとしたときとの差

(2) 50円玉と100円玉が合わせて12枚で850円。100円玉は何枚？

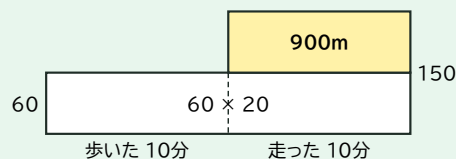
全部50円玉とすると $50 \times 12 = 600$ (円)実際との差は $850 - 600 = 250$ (円)

1枚を100円玉にかえると 50円ふえる

100円玉は $250 \div 50 = 5$ (枚)

硬貨や買い物も、つるかめ算と同じ型。「1枚あたり」がたての長さになる

(3) 分速60mで歩き、とちゅうから分速150mで走って、20分で2100m進んだ。走った時間は？

全部歩いたとすると $60 \times 20 = 1200$ (m)実際との差は $2100 - 1200 = 900$ (m)1分走るとに $150 - 60 = 90$ (m)多く進む走った時間は $900 \div 90 = 10$ (分)

速さでは、たてが速さ、横が時間、面積が道のりになる

(4) 皿を1枚運ぶと20円。わると運び代はなく、さらに60円はらう。50枚運んで760円。わったのは何枚？

全部無事なら $20 \times 50 = 1000$ (円)実際との差は $1000 - 760 = 240$ (円)1枚わると $20 + 60 = 80$ (円)へるわったのは $240 \div 80 = 3$ (枚)弁償算。わると「もらえるはずの20円」と「はらう60円」の両方がへるので、1枚で $20 + 60$ 円の差になる